

## 再評価結果（平成21年度事業継続箇所）

担当課：都市・地域整備局街路交通施設課  
担当課長名：松井 直人

事業名	JR土讃線連続立体交差事業（高知駅付近）		事業区分	街路	事業主体	高知県
起終点	自：高知県高知市比島町二丁目 至：高知県高知市福井東町				延長	4.1 km
事業概要	本事業は、JR土讃線の高知駅付近の約4.1 kmにおいて鉄道を高架化することにより、11箇所の踏切を除却し、都市内交通の円滑化を図るとともに、分断された市街地の一体化による都市の活性化を図る事業である。					
H6年度事業化	H7年度都市計画決定		H8年度用地着手		H9年度工事着手	
全体事業費	345億円	事業進捗率	99.6%	供用済延長	4.1 km	
踏切交通遮断量	169,300台時/日					
費用対効果分析結果	B/C (事業全体) 1.2 (残事業) 9.6	総費用 (残事業)/(事業全体) 2.8/563億円 (事業費：2.3/562億円) (維持管理費：0.51/0.51億円)	総便益 (残事業)/(事業全体) 27/658億円 (移動時間短縮便益：28/623億円) (走行経費減少便益：0.65/5.6億円) (交通事故減少便益：-1.5/29億円)	基準年 平成20年		
感度分析の結果	残事業費（全体事業費）について感度分析を実施 交通量変動：B/C = 10.6(交通量 +10%)、B/C = 8.7(交通量 -10%) 事業費変動：B/C = 8.8(事業費 +10%)、B/C = 10.7(事業費 -10%)					
事業の効果等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・円滑なモビリティの確保（現道等における踏切交通遮断量が10,000台時/日以上踏切道の除却）</li> <li>・都市の再生（区画整理等の沿道まちづくりとの連携効果）等</li> </ul>					
関係する地方公共団体等の意見	地元経済団体等で構成された高知駅周辺都市整備促進期成会から、早期完成の要望が寄せられている。					
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等	連続立体交差事業と一体的に整備が進められている、土地区画整理事業や関連街路事業等の進捗ともあいまって、街並みや景観も一新され、鉄道沿線の交通渋滞も大幅に緩和されている。					
事業の進捗状況、残事業の内容等	車両基地及び行違設備は供用済み、平成20年2月の高架切替により11箇所の踏切を除却。平成20年度末事業進捗率は99.6%。残事業は、高架下整備工事と高架工事に伴う事業損失対応のみである。					
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等	残事業である高架下整備工事と高架工事に伴う事業損失対応を行い平成21年度事業完了を目指す。					
施設の構造や工法の変更等	区画整理区域に隣接する側道整備において、区画整理事業者と受委託契約を行うなど事業の円滑化とコスト削減を図った。					
対応方針	事業継続					
対応方針決定の理由	残事業B/Cなどからも事業継続が妥当であり、残る高架下整備等を実施し平成21年度事業完了を目指す。					
事業概要図						

※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。